

# 北から南から ~各地区の活動~

交通安全協会は交通事故をなくすための幅広い活動を行っております。



自転車利用者への反射材取付け活動

- 交通安全の広報啓発活動
- 交通安全イベント・フェスタ等の開催
- 幼児から高齢者まで対象の交通安全指導
- 新入園児、新入学児童への交通安全教材等の提供
- 優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰
- 交通事故無料相談の開設【電話・面接(弁護士等)相談】

わたしは三重県交通安全協会のシンボルマスコット“ストッピー”です



チャイルドシート着用推進活動



「横断歩道“SOS”の日」の活動



「交通安全の日」に伴う交通安全指導の実施



チャイルドシート着用推進活動



保育園児に対する交通安全教室



ふれあいフェスティバルの開催



早朝街頭指導の実施



「横断歩道“SOS”の日」の活動



「高齢者交通死亡事故多発注意報」発令に伴う活動



交通死亡事故抑止啓発活動



街頭キャンペーンの実施



幼稚園での交通安全教室の実施



自転車安全対策強化日の活動



メッセージボードによる死亡事故抑止啓発活動



交通安全アドバイス事業所の指定



幼稚園での交通安全教室の開催



反射材取付け活動

私たち三重県交通安全協会は

## 悲惨な交通事故を1件でもなくしたい!そんな思いで活動をしています

悲惨な交通事故から県民一人ひとりの命を守りたい。これは私たちが願う切実な願いです。私たち三重県交通安全協会は一件でも交通事故をなくし、一人でも多くの命を守るための活動をボランティアの方々と日々行っています。



(一財)全日本交通安全協会作成による交通ルールの遵守・マナーの向上等のためのロゴマークです。

(一財)三重県交通安全協会

# 交通安全みえ

2020 / 早春号 No.216

発行所  
**(一財)三重県交通安全協会**  
 三重県交通安全活動推進センター  
 (三重県公安委員会指定)  
 〒514-0004 津市栄町1-954  
 三重県栄町庁舎5F  
 TEL 059-228-9636  
 URL <http://www.mie-ankyō.com/>



キラキラ輝く未来を背負ってご入学される子どもたちの交通安全を願って県下全域(一部の地域を除く)の新一年生に贈られます。

この蛍光黄色のランドセルカバーは、ドライバーから薄暮時でも視認性が高く、交通事故防止に大きな力を発揮することが期待されています。

ドライバーの方はランドセルカバーを付けた新入学児童を見かけた時は、児童の動きをよく見て速度を落とすなどの注意をして走行をお願いします。

また、このランドセルカバーは、運転者会員の尊い会費により製作され、市町等を通じ小学校に配布されます。

### 三重県内の子どもの交通事故

(幼児・小学生・中学生)

	令和元年	平成30年
人身事故件数	103件	128件
死者数	1人	0人
負傷者数	258人	340人

## 春の全国交通安全運動

4月6日(月)~15日(水)



### 運動の重点

- 子供を始めとする歩行者の安全の確保
- 高齢運転者等の安全運転の励行
- 自転車の安全利用の推進

4月10日(金)

「交通事故死ゼロをめざす日」

交通安全協会の活動は、会員の皆様からのご支援・ご協力により支えられています。

# 新入園児、新入学児童への交通安全教材贈呈式

(一社)日本自動車販売協会連合会三重県支部、三重県軽自動車協会、三重県自動車会議所と(一財)三重県交通安全協会の4団体は令和2年2月20日(木)吉田山会館 会議室において、子どもの交通事故防止に役立ててもらおうと県内の新入園児と新入学児童約33,700人に配布する「こうつうあんぜんぬりえ」と「こうつうあんぜんワークブック」の贈呈式を行いました。



子どもたちへの贈呈は平成7年から毎年行っているもので、吉田山会館で行われた贈呈式では、3団体の代表と当協会の西野会長が鈴木三重県知事に贈呈しました。「こうつうあんぜんぬりえ」と「こうつうあんぜんワークブック」は、各市町の教育委員会を通じて県内の子どもたちに贈られます。



# 横断旗の効果的な使い方

街頭で子どもたちのみまもり活動をしていただく時、横断旗はどのように使われていますか…？意外と知らない横断旗の効果的な使い方についてご紹介します。

## 街頭で誘導するときは…

1. 自分の身も守る！(車道に出ないことが原則です！道路に出て身体を張って守らない！)
2. 動きやすく、目立つ服装を心がけましょう。(雨の日はレインコートを着ましょう)
3. かかとの低い靴を履きましょう。
4. 横断旗はあわてず、大きくはっきりと見せましょう。  
(自動車が並んでしまったり、児童がたまってしまっても慌てずに行動しましょう。)
5. 歩行者用信号機がある場合は歩行者用信号機に従って横断させましょう。
6. 自動車に指示をしない。(横断旗には自動車を止める強制力はありません。)
7. 大型車に巻き込まれる恐れがあるので車道に近づきすぎないようにしましょう。



## 1. 児童を待たせるとき



指導者は車の来る方に立ちます。

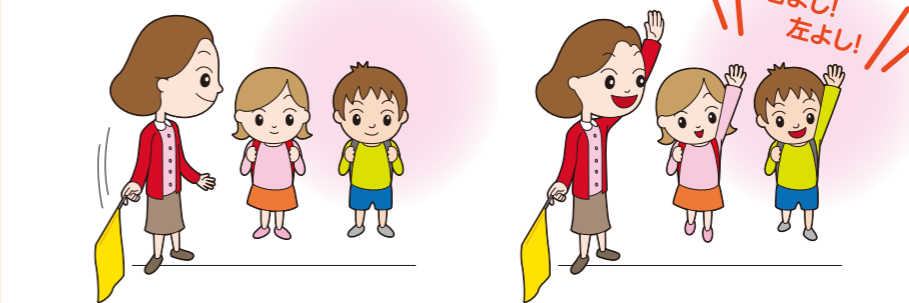
児童が横断したり飛び出したりしないように旗を水平に持ちます。  
(旗で児童の視線をさえぎらないように・児童自ら安全確認ができるように気をつけて下さい。)

## 2. 運転者に注意を促します



通行する車が途切れ、後続車との距離が電柱3本先と認めたら、運転者に児童が横断することを伝えるために大きく上下に旗を2~3回振り運転者に伝えます。

## 3. 児童を横断させるとき



自動車が止まってくれたら、左右の安全をもう一度確かめます。(このときに児童にも左右確認の声かけをお願いします。)  
旗を道路に出したまま児童を渡らせます(このとき車道には出ないのが原則です。)

## 4. 横断が終わったら(信号が点滅したら)



児童が渡りきったら左手で横断歩道をふさぎ、後ろから来る児童を止めます。

## 5. 最後に…感謝の気持ちを持って運転者に会釈しましょう。



朝の出勤時は運転者にとっても貴重な時間です。  
協力してくれた運転者に感謝の気持ちを伝えましょう。

# 第60回 交通安全全国国民運動中央大会

令和2年1月21-22日の両日、第60回交通安全全国国民中央大会が東京都内で開催されました。

1日目は、グラランドビル市ヶ谷において「地域家庭部会」、「交通安全教育部会」及び「企業部会」の三部会に分かれて分科集会在開催され、交通安全対策についての意見発表と討議が行われました。

2日目は、文京区の文京シビックホールに、秋篠宮同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、全国から約1,800人が参加の中、交通事故犠牲者に対する黙禱に続いて、交通安全栄誉章などの各種表彰や交通安全スローガン、交通安全ファミリー作文最優秀入選者に内閣総理大臣賞が授与された後、大会宣言が行われました。

本大会において、三重県内で受賞された皆様(個人及び団体)は次のとおりです。  
多年にわたり、交通安全のために献身的な尽力や交通事故の防止と交通秩序の確立に功績を残された方々に敬意を表し、心からお祝いを申し上げます。

## 交通安全栄誉章

- ◆緑十字金章 (交通安全功労者) 木下慶子 (津)
- ◆緑十字銀章 (交通安全功労者) 石川紀男 (津)
- ◆緑十字銅章 (交通安全功労者) 倉田千鶴子 (桑名)

## 交通安全優良団体等

- ◆交通安全優良団体 ぬいぐるみ人形劇メンバー
- ◆交通安全優良事業所 富士ゼロックス
- ◆交通安全優良団体等 マニユファクチュアリング株式会社 鈴鹿事業所
- ◆交通安全優良学校 大忠食品株式会社
- ◆交通安全優良学校 伊賀市立阿山中学校
- ◆優良交通安全協会 尾鷲地区交通安全協会
- ◆優良交通安全管理者協議会 伊賀南部交通安全管理協議会

